

縄南中通信



平成28年12月 1日 発行
2016年度 第8号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による20才の成人式には

当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

「創立30周年記念式典」、本当に有難うございました！ 2016.11.13

11月13日(日)、本校創立30周年記念式典が開催されました。1987年(昭和62年)に母体である縄手中学校から分離し、4月1日に2年生287名で開校、4月7日に新1年生285名を迎えてスタートしました。「地域に開かれた学校」として「心温かき人、感性豊かな人、たくましい人」を校訓に、「明るく、楽しく、美しく」をモットーとして学校・保護者・地域が一丸となって新しい学校づくりに取り組まれました。式典当日は、国歌斉唱に続く校歌斉唱では、参加された卒業生の方々も自然と慣れ親しんだ校歌を口ずさんでおられました。卒業生が混じった吹奏楽部のウェルカム演奏に引き続き、野田義和市長様・川光英士市議会議長様をはじめ多方面からご祝辞をいただきました。初代校長の吉田辰美先生、初代PTA会長の倉角喜代志様、1期生同窓会会長の菊岡大輔様にもご祝辞を頂き、懐かしい顔ぶれの方々もたくさんお集まりいただくことができました。開校より30年の歴史を刻んできました縄手南中学校は、現在、「地域に開かれた学校」から「日本一をみざす学校」へと、「心温かき人、感性豊かな人、たくましい人」から「人格形成」へと、「明るく、楽しく、美しく」から「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」へとそれぞれの思いを進化させています。30歳を迎えた縄手南中学校の様子を現PTA会長の杉本昌造様から伝えていただき、生徒会会長の川上京香さんからは「日本一をみざしています。」と会場の皆様に力強く意気込みを伝えて頂きました。式典の司会進行は本校アドバイザースタッフの竹中淳子さんをお願いしましたが、式典の間の繋ぎや言葉使いなど、「さすがプロ」という場面をたくさん見させていただきました。後半は本校の8期生であり、アドバイザースタッフである上方講師の旭堂南青さんによる創作講談「縄手南歴史講談」を披露して頂きました。縄手南中学校創立当時の思い出話や裏話、詰襟・セーラー服の制服から現在のブレザー制服へ移行した話、開校当初より開催された校区マラソン大会にファミリーマラソンが加わった経緯などを盛り込み、縄手南中学校の校舎A棟・B棟・C棟が夜中にこっそりと膝を突き合わせて談笑するという設定で、とても懐かしく、楽しく、微笑ましい内容でした。



在校生が校門付近で来校者をご案内する様子



初代吉田辰美校長と初代倉角喜代志PTA会長からのご祝辞

この30周年式典を開催するにあたり、堀居伸子実行委員長様をはじめ、歴代PTA会長様を中心とした実行委員の皆様には多大なご尽力を頂きました。また、開校当初の「地域に開かれた学校」の名の通り、多くの地域の皆様に支えられての式典となりました。また、歴代会長会・同窓会・PTAの皆様により、式典冊子・学校備品をはじめとした多くの寄贈もいただきました。皆様方への感謝の思いをしっかりと持ち、大切に使用させていただきます。式典が終わった後、ご来賓ならびにご出席された方々から、当日、生徒がスタッフとして活躍している様子、あいさつをはじめ案内等も本当に気持ちよくやっていたというお褒めをいただいています。本校は平成31年度より縄手南小学校と1つの組織となって義務教育学校としてスタートします。その教育理念は『「縄南道」による20才の成人式には、当たり前前を当たり前前に実行できる人の育成』ですから、保護者の皆様、地域の皆様とともに30年前に「地域に開かれた学校」としてスタートした縄手南中学校を、3年後にはぜひ「日本一を目ざす小中義務教育学校」として築きあげて行きましょう。



本校アドバイザースタッフ
上方講談師旭堂南青氏による
「縄手南歴史講談」の披露

アドバイザースタッフ乾龍介氏の1年生国語授業、06BULLS村上隆行監督の部活動研究より学ぶ ～「本気でやれ！本気でやれない者は成功しない！自ら積極的に学べ！」～

先日、本校アドバイザースタッフの乾龍介氏による1年生国語科の授業がありました。また、他校ではあまり例のない取り組みの1つである部活動研究も行いました。この日は野球部指導が題材で、日頃お世話になっている独立リーグ06BULLSの選手も手伝ってくださいました。また、村上隆行監督も北海道ロケを終えた後、伊丹空港から直行で参加いただきました。乾龍介氏は元朝日放送アナウンサーで、同社のアナウンス部長も勤めておられました。村上隆行監督は元プロ野球近鉄バファローズの中心選手としてご活躍されておりました。厳しい世界で一流と呼ばれたお二人がこの日、それぞれの時間で伝えて頂いた内容は全く同じで、「本気でやらなければ成長しない。中途半端な本気ではだめ。」「本気でやれない者は成功しない。」「自ら積極的に学ぼうという姿勢のある者が成長する。」ということでした。縄手南中学校は「人格形成」を教育の柱とし、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」がモットーであることを再度確認することができました。

クラブ等の主な記録

剣道 第50回東大阪市中学校総合体育大会

女子団体 優勝(川上京香2年 西山結2年 高居穂ノ佳1年)

第61回大東市民大会

中学校2.3年女子の部 優勝 中山百恵(3年) 3位 西山結(2年)

中学校1年女子の部 優勝 高井穂ノ佳 準優勝 池野梨子

第26回四条畷剣道大会

中学個人男子2.3年生の部 準優勝 山本壮一郎(3年)

中学個人女子の部 3位 川上菜々子(3年)

第50回東大阪市立中学校・高等学校生活体験意見発表会 学校代表

佐々木結人(1年)「家族のありがたみ」

第50回英語まつり参加

生駒仁美 小西真実 高石千晶 西岡歩美 福田博文 伊藤唯 花村雅公 岡昭士郎

奥野辰樹 香川仁志、川上京香 左貝海 田中風音 田中悠登 出口あおい 伊藤愛音

植田楓 内方温奈 田熊紫織、東條羽那 山根愛奈(全2年)